**参考４**

第四期自治基本条例推進委員会の有志による

✿

 第三回　Zoom de まちづくり

✿

✿

✿

✿

✿

～テーマ　Z世代のまちづくり～

開催日：令和５年５月２３日（火）

開催時間：１９時３０分～２０時３５分

参加者：１０名（委員８名＋事務局２名）

【開催の趣旨】

１．取り組みを知る

２．課題を共有する

横山・松下・細井・小野塚・木本・浅生・古屋・長尾・江口・秋山≪敬称略≫

３．解決の道を探る

【流れ】

１．発起人の横山委員長より、開催の趣旨、注意事項について説明

２．発題者（今回は、細井委員）より、若い世代の視点からのまちづくりについて提案

３．参加者から発題者へ質疑応答

是非

情報発信の仕方によって、若い世代に戸田市に興味を持ってもらうことが、まちづくりにつながっていくのでは？

【発題者のお話の要旨】　👦

細井委員と同世代の方の意見や特徴を踏まえ、まちづくりについての考えをお話しいただく。

●「戸田のまちづくり」で思うこと→遠い存在、イメージ。そもそも、戸田市の認知度が低い。「ボート」以外に他市の人に紹介できることがない。「戸田市に目的を持って行く」という人はいない。

●地域とのつながりについて→子どもの頃は町会の夏祭りやもちつき大会が楽しかった。ここ数年はコロナ禍で中止になっていて、地域の輪に参加する意識も薄れている。→イベント開催が戸田市を知る、分かってもらう一番良い機会ではないか。また、市内を回るスタンプラリーを開催して、駅から遠いエリアにも足を運んでもらう機会を作るなど、予算をかけずに工夫できることもあるのではないか。

●若い世代の特徴→基本的に「めんどくさがり」で、人と人との関わりを持つことは、必要最低限としがち。今はSNSを中心　　　　　に直接会わずにやり取りが素早くでき、情報もすぐ収集できる。そのため、若い世代に伝えるためには、ニーズを知り、何をしたいのかを的確に発信していけば効果的だと考えられる。

【発題者への質問・意見・提案など】

●SNSについて→動画付き、画像付きの情報を主に活用している。Twitter、TikTok、Instagramの３つがメインである。

●発案したい戸田市の政策は→「子育てしやすいまち」であるならば、高校生まで医療費無償など、

子育て負担の軽減策を掲げるのはどうか。

●若者の傾向について→色々と意欲的な人は、情報発信したい、経験したいと考えて実行しているが、消極的な人は、そこまででもない。どちらが多いとも少ないとも言えないと思う。

●若者が先頭に立つことについて→長期間担うことは難しいため、短期間で交代できるようにするなど持続していくシステムにしていかないと続かない。また、以前に担っていた人が「戻ってきたい・戻りたい」と思えるように、周りのサポートも重要ではないか。

●その他→Z世代などと、世代で特別な思考なのではなく、「きっかけ」が重要で、機会があればみんな一緒なのではないか。

　【まとめ】松下先生より

若者の意見を生かすのが大人であり、この委員会でありたい。逆に生かさないのはもったいないことである。

大人ができることは、若者の後押しをして支えていくことであり、後押しする体制を整えることが重要ではないだろうか。